

2023年度 事業報告書

2023年4月1日から 2024年3月31日まで



公益社団法人日本オリエンテーリング協会

[I] 法人の概要

当協会は、2012年6月4日付けで公益社団法人の認定を受け、同日設立登記を行った。

この事業報告は、公益社団法人として第10期の事業報告となる。

1. 設立年月日

公益社団法人	2012年6月4日
社団法人	1991年4月26日
協会設立	1990年7月1日

2. 定款に定める目的

この法人は、我が国におけるオリエンテーリングを統括し、代表する団体として、オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業

- (1) オリエンテーリングの普及及び指導に関する事業
- (2) オリエンテーリング競技会の開催及び公認に関する事業
- (3) オリエンテーリングの競技力向上に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員に関する事項

(1) 会員数		
正会員数	計38会員	[36都道府県、日本学連、日本デフ協会]
(2) 指導員・競技者登録・イベントアドバイザー登録数		
ディレクタ1級指導員数		18名 (2022年度26名)
ディレクタ2級指導員数		22名 (2022年度30名)
インストラクタ指導員数		137名 (2022年度121名)
イベントディレクタ指導員数		103名 (2022年度90名)
JSPOコーチ2指導員数		16名 (2022年度15名)
JSPOコーチ1指導員数		28名 (2022年度19名)
ナビゲーション・インストラクタ		73名 (2022年度64名)
競技者登録数		2169名 (2022年度2254名)
IOFイベントアドバイザー		12名 (2022年度12名)
イベントアドバイザー登録数		51名 (2022年度41名)

5. 都道府県のオリエンテーリングを統括する会員(2023年度末現在)

北海道オリエンテーリング協会	佐藤公英
岩手県オリエンテーリング協会	三ヶ田礼一
宮城県オリエンテーリング協会	岡本和広
秋田県オリエンテーリング協会	小山由男
福島県オリエンテーリング協会	加藤一郎
茨城県オリエンテーリング協会	石井邦一
栃木県オリエンテーリング協会	岡崎良昭
群馬県オリエンテーリング協会	高橋利之
(特非)埼玉県オリエンテーリング協会	福原正三
千葉県オリエンテーリング協会	奥田健史
東京都オリエンテーリング協会	杉本光正
神奈川県オリエンテーリング協会	碓井 進
新潟県オリエンテーリング協会	笛木勉
石川県オリエンテーリング協会	不破大仁
福井県オリエンテーリング協会	奥居稠朗
山梨県オリエンテーリング協会	酒井 寛
長野県オリエンテーリング協会	美谷島孝
岐阜県オリエンテーリング協会	橋本八州馬
静岡県オリエンテーリング協会	坂本太郎
(特非)愛知県オリエンテーリング協会	新帯 亮
三重県オリエンテーリング協会	小八重善裕
滋賀県オリエンテーリング協会	古津和夫
京都府オリエンテーリング協会	市橋国之
大阪府オリエンテーリング協会	北川達也
兵庫県オリエンテーリング協会	尾上俊雄
奈良県オリエンテーリング協会	奥野信亮
和歌山県オリエンテーリング協会	山下直也
島根県オリエンテーリング協会	森山健一
岡山県オリエンテーリング協会	千田博通

広島県オリエンティング協会
 山口県オリエンティング協会
 徳島県オリエンティング協会
 香川県オリエンティング協会
 愛媛県オリエンティング協会
 福岡県オリエンティング協会
 宮崎県オリエンティング協会
 日本学生オリエンティング連盟
 日本デフオリエンティング協会
 加盟していない県

伊東博司
 渡邊正次
 林 和志
 松井繁成
 河野忠康
 渡辺智博
 小八重善裕
 河合利幸
 野中好夫

青森県、山形県、富山県、鳥取県、高知県、長崎県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

6. 役員等に関する事項(2023年度末現在)

(理事括弧内はブロック選出区域等を表す)

代表理事/副会長(学識経験者)	愛場 庸雅
代表理事/副会長(学識経験者)	村越 真
業務執行理事(学識経験者)	鹿島田 浩二 [競技力、A・D担当]
業務執行理事(学識経験者)	高島 和宏 [技術、国際担当]
業務執行理事(北海道・東北B)	信原 靖 [普及指導担当]
業務執行理事(首都圏B)	奥田 健史 [主催大会担当]
業務執行理事(首都圏B)	糸 早徳 [総務担当]
理事(首都圏B)	源後 美紀子(皆川 美紀子)
理事(北関東B)	佐藤 大樹
理事(北信越B)	小林 力
理事(東海B)	大野 徳子(山本 徳子)
理事(近畿B)	市橋 国之
理事(中国・四国・九州B)	吉村 年史
理事(学識経験者)	茅野 耕治
理事(学識経験者)	加納 尚子
理事(学識経験者)	中野 智美
理事(学識経験者)	野中 好夫
理事(日本学連選出)	市川 俊介
理事(日本学連選出)	大石 遥
監事	齋藤 和助 (税理士)
監事	中川 義宏 (弁護士)
監事	齋藤 宏顕
名誉会長	山西 哲郎
顧問	前田 真理子(大里真理子)

7. 事務局に関する事項(2023年度末現在)

臨時職員 7名 小野賢二 高村 卓 清水由布子 上松典子 利光恵美
 杉本光正 山本賀彦

8. 社員総会、理事会等に関する事項

(1) 社員総会

日時 2023年6月10日(土)

会場 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階会議室で対面による形式で開催した。

(傍聴、意見交換はオンラインを併用)

議題 審議事項

第1号議案 2022年度事業報告書案及び財務諸表案の承認

質疑応答後、

2022年度事業報告書案について賛成37名(出席者14、議決権行使5、委任状18(議長委任)、反対1で承認された。

財務諸表案について賛成38名(出席者14、議決権行使6、委任状18(議長委任)、反対0名で承認された。

第2号議案 定款の一部改訂の承認

現行	改訂案
第20条 この法人には、次の役員を置く。 (1) 理事 12名以上 20名以内 (うち会長1名、副会長2名) (2) 監事 2名以上3名以内	第20条 この法人には、次の役員を置く。 (1) 理事 12名以上 30名以内 (うち会長1名、副会長2名) (2) 監事 2名以上3名以内
第24条 この法人の 理事 は選任後(以下略) 4 監事の任期は、(以下略)	第24条 この法人の 役員 は選任後(以下略) <第4項の全文を削除>

質疑応答後、賛成38名(出席者14、議決権行使6、委任状18(議長委任)、反対0名で承認された。

第3号議案 役員(理事、監事)の承認

[理事]

再任(重任):堀井 学,愛場庸雅,鹿島田浩二,村越 真,奥田健史,佐藤大樹,糸 早穂,小林力,吉村年史,茅野耕治,加納尚子,高島和宏,谷野文史

新任:信原 靖,中野智美,野中好夫,源後(皆川)美紀子,大野(山本)徳子,市橋国之,市川俊介,大石 遥

退任:前田(大里)真理子,新帯 亮,楠見耕介,廣田雅幸,山本陽子(間瀬),瀬川 出,浴本悠貴

[監事]

再任:齋藤和助,中川義宏

新任:齋藤宏顕

退任:尾上秀雄

質疑応答後、賛成38名(出席者14、議決権行使6、委任状18(議長委任)、反対0名で承認された。

(2)理事会 [各理事会の詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

第38回理事会

日時 2023年5月20日(土) 13:00-17:00

会場 Zoomによるオンライン会議

議題 審議事項

第1号議案	2022年度事業報告書案、収支決算書の承認および内部監査報告	賛成14名、棄権1名により承認
第2号議案	女性委員会委員の追加承認	賛成13名、棄権1名により承認(一時離席1)
第3号議案	全日本委員会委員の追加承認	賛成13名、棄権1名により承認(一時離席1)
第4号議案	次期役員候補者案を総会議案に上程する事の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第5号議案	全日本大会エリートクラス出場資格規則改正の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第6号議案	日本オリエンテーリング競技規則改正の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第7号議案	定款改訂を伴う理事数増員の承認および定款の役員任期記述一部修正の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第8号議案	役員候補者選考規程改訂の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第9号議案	役員候補者選考ガイドライン制定の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第10号議案	倫理規定改定の承認	賛成14名、棄権1名により承認

第39回理事会

日時 2023年6月10日(土) 15:30 - 16:20

会場 会議室およびZoomによるオンライン併用ハイブリッド会議

議題 審議事項

第1号議案	会長、副会長、業務執行理事の選任	賛成18名、棄権1名により承認
第2号議案	顧問候補者の承認	賛成18名、棄権1名により承認
第3号議案	普及・指導委員会の追加承認	賛成18名、棄権1名により承認

第40回理事会

日時 2023年9月18日(祝月) 13:00 - 17:40

会場 Zoomによるオンライン会議

議題 審議事項

第1号議案	競技関連規則改訂の承認	賛成15名、反対1名、棄権2名により承認
第2号議案	WMOC2027への立候補の承認	賛成15名、反対1名、棄権2名により承認
第3号議案	JSCスポーツ団体選手強化活動助成金配分額決定の承認	賛成17名、棄権1名により承認
第4号議案	公益財団法人日本パラスポーツ協会(JPSA)への準登録、及び日本パラリンピック委員会(JPC)への準加盟の承認	賛成17名、棄権1名により承認
第5号議案	日本ランキング規則改定の承認	賛成17名、棄権1名により承認
第6号議案	スプリント委員会 委員追加の承認	賛成17名、棄権1名により承認
第7号議案	①2025デフリンピック準備委員会および②全日本リレー委員会発足の承認	①②とも賛成17名、棄権1名により承認
第8号議案	2023年度全日本大会事業者発注先の承認	賛成15名、反対1、棄権1名により承認(離席1)
第9号議案	「全日本大会エリートクラス出場規則」改訂の承認	賛成11名、反対5名、棄権2名により承認
第10号議案	全日本スキーオリエンテーリング選手権大会実施基準改定の承認	賛成17名、棄権1名により承認
第11号議案	日本スキーオリエンテーリング大会競技規則改定の承認	賛成17名、棄権1名により承認
第12号議案	会員支援に関する規程改定の承認	賛成17名、棄権1名により承認

第41回理事会

日時 2023年12月16日(土) 13:00 - 17:25

会場 Zoomによるオンライン会議

議題 審議事項

第1号議案	会長職務代理者の責任順位の承認	賛成17名、棄権1名により承認
第2号議案	JPSA登録およびJPC加盟について再承認	賛成17名、棄権1名により承認
第3号議案	JSCスポーツ団体大会開催助成事業作成地図のMTBO対応の承認	賛成18名、棄権1名により承認

		(この議案から参加1)
第4号議案	NS検定規程および内規の改定の承認	賛成18名、棄権1名により承認
第5号議案	スキーO委員会委員長交代の承認	賛成18名、棄権1名により承認
第6号議案	全日本大会エリートクラス出場資格規則改定の承認	賛成18名、棄権1名により承認
第7号議案	第32回全日本リレー大会運営謝金の理事への支払い承認	賛成18名、棄権1名により承認
第8号議案	2023年度全日本ミドルロング運営謝金の理事への支払い承認	賛成18名、棄権1名により承認
第9号議案	委員会規程改訂の承認	賛成18名、棄権1名により承認
第10号議案	日本ランキング規則改定の承認	賛成18名、棄権1名により承認

第42回理事会

日時 2024年2月11日(日) 14:00 - 17:30

会場 Zoomによるオンライン会議

議題 審議事項

第1号議案	令和6(2024)年度事業計画案の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第2号議案	令和6(2024)年度予算案の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第3号議案	基本財産に関する規程および細則ならびにその関連する定款改定を総会に上程することの承認	賛成14名、棄権1名により承認
第4号議案	定款の改定、および社員総会運営規則と理事会運営規則の改定を総会に上程することの承認	賛成14名、棄権1名により承認
第5号議案	役員報酬規程改定の総会上程の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第6号議案	理事の職務権限規程改定の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第7号議案	旅費規程および謝金規程改定の承認	賛成14名、棄権1名により承認
第8号議案	認定指導者規程改定の承認	賛成15名、棄権1名により承認(この議案から参加1)
第9号議案	会員支援に関する施行細則制定の承認	賛成15名、棄権1名により承認
第10号議案	競技規則類の3規程改訂の承認	賛成15名、棄権1名により承認
第11号議案	2024年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注先の承認	賛成15名、棄権1名により承認

(3)業務執行理事連絡会(主たる協議事項)

第1回	2023年5月7日(月) Zoom19:00～ 2022年度事業報告、決算内容の確認、他	リモート(Zoom)開催
第2回	2023年9月4日(月) Zoom19:00～ JPSA、JPCへの登録、加盟、他	リモート(Zoom)開催
第3回	2023年12月5日(火) Zoom19:00～ 日本代表選手団における危機管理体制の構築について	リモート(Zoom)開催
第4回	2024年1月30日(月) Zoom20:00～ 来年度事業計画について	リモート(Zoom)開催
第5回(臨時)	2024年3月26日(火) Zoom21:00～ IOF理事推薦、JOA委員改選、国際会議等旅費対応、他	リモート(Zoom)開催

9. Official Partner

株式会社ニチレイ、株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ、サルミングジャパン、株式会社デザートジャパン

[II] 2023年度の事業

【公益目的事業1】 普及指導に関する事業

1. 指導者養成、資格認定・登録

- ・ディレクター・インストラクターの認定・登録を行った。
- ・インストラクター養成講習会は、徳島で開催を予定したが参加申込みが無く中止となった。
- ・イベントディレクター認定試験を4回開催した(2023/6月、9月、12月、2024/3月)。
- ・イベントアドバイザー研修会を2023/6/24、8/26、11/23で3回開催した(8/26は岐阜県協会と共催)。
- ・ナビゲーションスキル検定「ゴールド講習」を2回開催した。
- ・ナビゲーションスキル検定「シルバー講習」を4回開催した。
- ・ナビゲーション・インストラクター養成講習会および更新講習会を各1回開催した。
- ・ナビゲーション・インストラクター向けオンライン講座を2回開催した。
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度への移行および新規受講講習会が開催された。
2023年7月29日、8月5日コーチ2講習会(ディレクターからの移行者対象)。
2023年9月18日、23日、24日コーチ1講習会(ディレクターからの移行者+新規取得者対象)
2024年1月13日コーチ1講習会(ディレクターからの移行者対象)。

2. 常設コース

- ・会員からの常設コース情報をWEBにて発信した。
- ・ネットプリント 現在68コースが稼働中。
- ・常設コースの新たな活用方法については検討されなかった。

3. 距離認定

- ・100キロコンペ申請に対して走歩距離認定を行った。 [申請数274件(2022年度281件)]

4. 普及及び受託事業

- ・加盟していない県組織に対しての加盟への働きかけを行った(東北ブロック)。
- ・野外活動施設、民間企業への普及活動は出来なかった。
- ・学校教育への新たな導入への方策については対応できなかった。
- ・高校登山部への連携を強化し若い世代のナビゲーション活動の活性化は出来なかった。
- ・日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)との共同によるポケットガイド「読図とナビゲーション」を作成し、普及活動を推進した。
- ・大学教育への取り入れについて調査研究と情報提供は出来なかった。
- ・OMM(オリジナルマウンテンマラソン)等の競技主管を受託した。
- ・マウンテンオリエンテーリングの主催大会を京都で開催した。(MMO)
- ・国内各地にてロゲイニング等のイベントを通じて普及の手がかりを検討した。

5. 広報

- ・指導者、競技者、寄付・協賛者等に対するの情報提供として、JOAニュースを2回発行した。
- ・ホームページを維持管理し、情報発信を行った。
- ・理事会・事務局便りを38号から43号まで6回発行した。
- ・Facebook、Twitterにて情報発信を行った。
- ・プレスリリースを各委員会から随時実施した。

6. 地域活性化委員会

- ・会員から申請のあった会員支援金申請に対する審査及び回答書を作成した。
- ・『九州地区活性化モデル地区活動』熊本県熊本市(立田山)にて、地図読みとロゲイニング体験会を実施。これをきっかけに地元で今後地図を活用した活動を検討中(立田山はかつて常設コースがあったトレイン)。
- ・全日本リレー佐賀の前日大会を福岡県協会として開催。開催について人的な支援を行った。地元オリエントニアが集まる機会となった。
- ・九州を中心として西日本の応援サイトを運営。メーリングリストなどで情報交換を活性化させた。
- ・地域活性化支援策の見直し
各会員との直接の対話(Zoomによる)を開始した。
現在の会員支援に関する規程では競技者登録数が増加すると支援額が大きく減額する場合があります見直しの議論を始めた。
- ・全国の競技登録者向けのダイレクトメール体制を作った。

【公益目的事業2】 競技会の開催及び公認に関する事業

1. 全日本大会を主催した。

2023年11月4日 第12回全日本ミドルO大会 [WRE対象大会]	千葉県勝浦市	981名
11月5日 第50回全日本ロング大会 [WRE対象大会]	千葉県勝浦市	952名
2024年1月7日 第16回全日本スプリントO大会 [WRE対象大会]	東京都世田谷区	700名
2月4日 第32回全日本リレーO大会	佐賀県神崎市・吉野ヶ里町	423名
3月2日 全日本スキーオリエンテーリング大会 スプリント	北海道留寿都村	39名
3月2日 全日本スキーオリエンテーリング大会 ミドルディスタンス	北海道留寿都村	30名
3月3日 全日本スキーオリエンテーリング大会 パシユート	北海道留寿都村	41名
3月3日 全日本スキーオリエンテーリング大会 スプリントリレー	北海道留寿都村	116名(延べ人数)

2. 会員より大会の申請を受け公認した。

[フットO]

2024年1月28日 上尾大会inおがわ【カテゴリF】	埼玉県	369名
-----------------------------	-----	------

3. 国際大会の開催

- ・国際大会としての国内での開催はなかった。
- ・WRE対象大会として以下の大会を実施した。

第12回全日本ミドルオリエンテーリング大会、第50回全日本ロングオリエンテーリング大会、第16回全日本スプリントオリエンテーリング大会

4. その他の競技会を主催・共催した。

- ・ナビゲーション・ゲームズシリーズ2023(20会場で開催) 賛同する団体と共催 延2,040名

5. 賠償責任保険及び傷害保険

- ・AIG損害保険(賠償責任保険)、あいおいニッセイ同和損害保険(傷害保険)と引き続き加入した。
- ・JOA主催大会及び、申請を受けた公認大会等への傷害保険を適用した。(9件の申請を受けた)

6. 規程・規則等制定ならびに改廃等

全日本大会エリートクラス出場資格規則	2023/5/20
日本オリエンテーリング競技規則	2023/5/20
役員候補者選考規程	2023/5/20
役員候補者選考ガイドライン制定	2023/5/20
倫理規定	2023/5/20
定款の一部改訂	2023/6/10
日本オリエンテーリング競技規則	2023/9/18
日本ランキング規則	2023/9/18
全日本大会エリートクラス出場規則	2023/9/18
全日本スキーオリエンテーリング選手権大会実施基準	2023/9/18
日本スキーオリエンテーリング大会競技規則	2023/9/18
会員支援に関する規程	2023/9/18
NS検定規程および内規	2023/12/16
全日本大会エリートクラス出場資格規則	2023/12/16
委員会規程改訂	2023/12/16
日本ランキング規則	2023/12/16
理事の職務権限規程	2024/2/11
旅費規程および謝金規程	2024/2/11
認定指導者規程	2024/2/11
会員支援に関する施行細則	2024/2/11
日本オリエンテーリング競技規則	2024/2/11
競技規則および関連規則類のガイドライン	2024/2/11

7. アンチ・ドーピング

- ・ドーピング検査 日本アンチ・ドーピング機構に検査の実施を求めた。
- ・アンチ・ドーピング講習会を実施した
 - クリーンスポーツ研修会 開催日:5月4日 対象:日本代表候補選手 場所:静岡県富士宮市 講師:落合委員長
 - アンチ・ドーピング研修会 開催日:12月7日 対象:日本代表候補選手 講師:西村典子(にしむらのりこ)JADA-Educator
 - イベント・アドバイザー研修会でのアンチ・ドーピング教育 開催日:8月26日、11月23日 対象:イベント・アドバイザー 講師:伴委員
 - アンチ・ドーピング講習会 開催日:8月28日 対象:デフォリエンテーリング日本代表候補選手 講師:落合委員長
- ・日本アンチ・ドーピング機構の協力を仰ぎ教育啓発活動をおこなった
 - アウトリーチプログラム
 - 開催日:5月13日、14日
 - 場所:愛知県北設楽郡設楽町、奥三河2days
- ・啓発広告の掲載
 - 全日本大会、インカレ
- ・選手への助言
 - 選手からの問い合わせに対して薬の服用について助言をした。
- ・日本スポーツフェアネス機構、日本アンチ・ドーピング機構と連携し国内でのアンチ・ドーピング活動に協力した

8. 競技者登録

- ・2023年度登録を実施し、登録者への情報提供を行った。(前年度対96%)
[男性1,616名、女性552名、計2,168名(内、学生 1139名、U18/ 146名、U15/ 126名)]

【公益目的事業3】 競技力向上事業

1. 選手・役員の派遣

- ・フットオリエンテーリング
 - WOC[2023年7月11日～16日 スイス]へ選手・役員を派遣した。
 - JWOC[2023年7月2日～9日 ルーマニア]へ選手・役員を派遣した。
 - WCup[2023年4月26日～30日 ノルウェー]、[8月2日～6日 チェコ]、[10月3日～7日 イタリア]へ選手を派遣した。
 - WOC2023 Training Camp 2[2023年5月31日～6月6日 スイス]へ選手を派遣した。
 - Pre-WOC2025[2023年8月26日～27日 フィンランド]へ選手を派遣した。
 - Euromeeting[2023年10月13日～15日 イギリス]へ選手を派遣した。
 - AsJYOC[2023年12月23日～26日 香港]へ選手・役員を派遣した。
- ・スキーオリエンテーリング
 - 世界スキーオリエンテーリング選手権大会へ日本代表選手を派遣した。
 - ワールドカップへ日本代表選手を派遣した。
 - その他、海外開催のオープン大会への参加支援を行った。

・マウンテンバイクオリエンテーリング

World MTB Orienteering Championships 2023 & CX80 World Cup in MTB Orienteering

Junior World MTB Orienteering Championships 2023(Czechia)

上記大会へ選手を派遣した。

その他、海外開催のオープン大会への参加支援を行った。

World Masters MTB Orienteering Championships 2023(Slovenia)

・トレイルオリエンテーリング

2023世界トレイルオリエンテーリング選手権大会(WTOC2023)へ選手選考を行い、選手、役員計8名を派遣した。

2. 強化委員会

・選考会、JOA合宿等の開催

4月1日(土)～2日(日) JOA合宿 静岡県

4月9日(日) WOC、JWOC選考会 静岡県

5月3日(祝・水)～5日(祝・金) JOA合宿 静岡県

5月20日(土)～21日(日) JOA合宿 愛知県

5月27日(土)～28日(日) JOA合宿 愛知県

6月10日(土)日本代表チーム壮行会 東京都

← フットO以外も一緒に開催

9月18日(日) JOA練習会 長野県

10月25日(水) 日本代表チーム世界選手権等報告会 (Zoomによるweb開催) ← フットO以外も一緒に開催

11月18日(土)、19日(日) スプリント練習会 茨城県

11月24日(金) シニアチーム夏の欧州遠征 情報共有会 (Zoomによるweb開催)

12月16日(土)～17日(日) JOA合宿 静岡県

12月28日(木)～30日(土) ジュニア向け合宿 静岡県

2024年

2月10日(土)～12日(祝・月) JOA合宿 静岡県

2月23日(祝) スプリント練習会 神奈川県

3月2日(土) スプリント練習会 神奈川県

3月9日(土) スプリント練習会 茨城県

3月10日(日) スプリント練習会 神奈川県

3月23日(土) スプリント練習会 東京都

3月30日(土)～31日(日) JOA合宿 静岡県

3. スキーO委員会

・強化活動

強化選手の指定

A強化 男子1名、B強化 男子7名女子5名、U20指定 男子1名女子1名の指定を行った。

強化合宿の開催(残雪期、夏期、秋期、冬期)

合計13回開催した。

フット強化合宿への参加支援

未実施

強化計画策定支援

強化指定選手に対して強化計画の策定を行った。

・代表用具の整備

日本代表ウェアの新規購入を行った。

競技用具の整備:ワックスの整備を行った

・代表選手教育(マナー、ドーピング、インテグリティ、代表選手規範の教育)

ドーピング/インテグリティについて選手教育を行った。

・大会の開催

JOA主催大会の他、ローカル大会開催の支援を行った。

山形県(飯豊町)、栃木県(日光市)、兵庫県(養父市)、岩手県(安比高原)、新潟県(長岡市)等で開催されたイベントの大会開催支援を行った。

・強化候補選手の発掘

ジュニア選手の発掘:山形飯豊スキーO体験会/安比高原ジュニア講習会によりジュニア選手の発掘を行った。

初心者講習会の開催:栃木県(奥日光)、長野県(木島平村)、兵庫県(養父市)、山形県(飯豊)にて初心者講習会を開催した。

・スノーシューオリエンテーリング大会の開催を通じたスノースポーツの普及貢献

パウダースノーシューランの大会を開催した。

・広報活動:クロスカントリースキーヤーに対する広報活動(大学スキー部、愛好者、高校生)を行った。

・競技基盤の整備:競技規則の整備、周知活動。指導者講習会の開催。

・委員会組織体制の強化:サクセッションプランの策定と委員候補者育成

・2026年世界スキーオリエンテーリング選手権大会の日本開催招致活動に成功した。

4. MTB-O委員会

- ・スポーツ団体スポーツ活動助成(スポーツ教室、スポーツ大会等開催(地方)2023年度は開催見送り。2024年度開催に向けて準備を実施。くじ助成の申請とバイクロイベント主催者との打ち合わせを実施した。
- ・広報活動としてオリエンティアおよびバイク関係者に対し、MTBO紹介および遠征選手募集のビラ配布を実施した。また、6月10日に開催された日本代表壮行会、10月25日に開催された2023年世界選手権合同報告会に参加した。
- ・MTBO体験会、ローラーチャレンジを開催した。
- ・SNS等を活用した各人や委員会広報を行った。
- ・JOAオンラインセミナーにおいて講演を実施した。
2024年2月28日開催 第4回「MTBO選手のトレーニング - 阿部稜選手 × 嶋岡雅浩選手 -」
- ・語学力向上の為、Duolingoを継続実施。
- ・NaviTaviの国際的プロモーション活動を継続的に実施
- ・ISMTBOM 2022, ISSprOM2019-2(2021年版)への改訂貢献

5. トレイルO委員会

- ・全日本トレイルO選手権大会は開催場所を選定できず見送った。
- ・公認大会の申請はなかった。
- ・障害者への普及活動の促進のため、トレイルO協会と協同で働きかけを行いたいが、コロナ影響により活動できず。
- ・日本トレイルO競技規則の改訂を進めている。ガイドラインについては未実施。

【各委員会事業報告】

1. 競技委員会

- ・委員会をメール及びリモートにより、情報共有・意見交換を随時且つ頻繁に実施。
- ・競技規則の改訂 [規程の項目に掲載]
- ・イベントアドバイザー研修会の実施 [指導者養成・資格認定等に掲載]
- ・公認大会の認可、イベントアドバイザーの任命、Eクラス推薦の審査及び記録の認定を行った。

2. 女性委員会

- ・委員のリクルート活動により、委員増員。特に、学生に近い年代の委員
- ・外部向けのイベント等の実施なし。
- ・デフリンピック東京に向けた強化合宿への女性スタッフ派遣(1名)。
2023年8月26日(土)~28日(月)開催。日本デフオリエンテーリング協会からの依頼に応じ、女性委員1名を派遣。

3. 国際委員会

- ・IOFの専門委員会に委員を派遣し、IOFの活動に協力するとともに、日本の競技力向上に資することができた。
 - ・IOF SkiO Commissionの委員にJOAスキーO委員会の柴田委員長が就任した。
 - ・IOF Global Development委員会でAssociate memberとして落合委員が活動した(2023年12月末退任)
 - ・2023年アジアジュニアユース選手権(香港)の開催に協力した。
 - ・2024年アジア選手権の開催地であるタイへ村越副会長と落合委員が赴き、大会準備に協力した。
 - ・アジアオリエンテーリング連盟の設立に協力した。
 - ・IOFのMember Information Meetingに茅野委員がオンラインで出席した。
- JOCと連携した活動
- ・JOCを通じて他のNFとの交流を図った
 - ・JOCのNF国際情報共有会に茅野委員長が参加した。
 - ・JOCの国際戦略策定ワークショップに落合委員が参加した。

4. 普及・指導委員会

- ・指導員講習会を開催した(指導者養成、資格認定・登録の項に記載)

5. アスリート委員会

- ・選手あるいは他委員会等からの意見、照会に対して、選手目線での意見を伝え、関連委員会に働きかけることで、アスリート委員会の理念とミッションに基づく活動を実施した。

6. 総務委員会

- ・寄付金リーフレット準備、SNS発信で寄付金募集を行った。
- ・ナビゲーションゲームズ2023対応を行った。(競技会の開催及び公認に関する事業、4に記載)

7. 全日本オリエンテーリング大会実行委員会

- ・2023年11月4、5日の2日間で全日本ミドル、ロング大会を開催した。延べ参加人数1,933名。
- ・日本ランキング(フォレスト)の運用を実施し、スプリント委員会と連携して日本ランキング(スプリント)の運用開始に協力を行った。
- ・日本ランキング規則について規則制定・改定を実施した。全日本大会エリートクラス出場資格規則について、競技委員会と連携して規則改定を行った。

・次年度以降の全日本大会(ミドル・ロング)開催計画を策定した。

8. スプリント委員会

- ・2024年1月7日、2023年度全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)を開催し過去最多の700名の参加。
- ・全日本委員会の協力のもと、日本ランキング(スプリント)の運用を行った。
- ・次年度以降の全日本スプリント開催計画の策定。
2024年度の全日本大会について、渉外を実施し、大会日程とトレインを公開した。
2025年度大会について、情報収集を行い、トレインについて検討中。

9. 地図委員会

- ・ISOM/ISSprOM改訂版の発行した。
- ・EA研修会や全日本リレー前日セミナーでの地図図式、地図調査技術についての普及活動を行った。

10. ジュニア委員会

- ・JWOC,AsJYOC等に選手を選考し、代表チームを編成する。また、選考会の開催、代表選手の認定・派遣、合宿開催等による強化、情報提供、支援活動を行った。

2023年

- 4月1日(土)～2日(日) JOA合宿 静岡県(ジュニア選手強化)
- 4月9日(日) JWOC選考会 静岡県
- 5月3日(祝・水)～5日(祝・金) JOA合宿 静岡県(ジュニア選手強化)
- 5月27日(土)～28日(日) JOA合宿 愛知県(ジュニア選手強化)
- 6月10日(土)日本代表チーム壮行会 東京都
- 7月2日～9日 ルーマニアJWOC遠征及び参加
- 9月18日(日) JOA練習会 長野県
- 10月25日(水) 日本代表チーム世界選手権等報告会 (Zoomによるweb開催)
- 12月16日(土)～17日(日) JOA合宿 静岡県
- 12月23日～26日 香港 AsJYOC遠征及び参加
- 12月28日(木)～30日(土) ジュニア向け合宿 静岡県

2024年

- 3月30日(土)～31日(日) JOA合宿 (ジュニア選手強化)
- ・U-20,U-18強化選手の指定、強化合宿・練習会等による強化の他、情報提供、支援活動を実施した。
2023年 4月16日 U-20 女子6名、男子9名指定 U-18 女子3名、男子3名指定
2024年 1月18日 U-20 女子6名、男子4名指定 U-18 女子4名、男子5名指定

11. WMG2021関西JOA実行委員会

WMG2027とWMOC2027併催について

- ・WMOC2027申請 2023年12月IOFに申請書提出、2月に質問や追加情報提供要請あり3月末に回答。
- ・WMG2027収支概算予算作成
- ・フォレストトレインの変更を検討

12. 全日本リレー委員会

- ・10月17日に初会合をZoomにて開催し今後のリレー大会について検討した。
- ・2024年2月4日、佐賀県「吉野ヶ里歴史公園」にて全日本リレー大会を開催した。

13. 危機管理・コンプライアンス委員会

【安全管理】

- ・EA研修会にて安全管理の講習を行った。6/24, 8/26, 11/23
- ・ホームページ上の「安全ガイド」をよりわかりやすく改訂した。
- ・新型コロナウイルス感染症の法的取り扱いの変化を受けて、5月8日以降感染対策のガイドラインを廃止した。

【コンプライアンス】

- ・2023年9月8日 コンプライアンス研修会「スポーツ庁ガバナンスコードについて、倫理規定について、利益相反について」を開催した。

【その他】

1. 日本スポーツ振興基金助成金報告「助成金確定報告から」

スポーツ団体選手強化活動助成(基金)	交付決定額	計
①フットOジュニア世界選手権大会派遣	587,000	
②世界トレイルO世界選手権大会派遣	58,000	
③フットO世界選手権大会(フォレスト)派遣	470,000	
④スキーO世界選手権選手派遣	157,000	
⑤MTB-O世界選手権派遣	728,000	2,000,000
スポーツ団体大会開催助成(基金)	交付決定額	計
①2023年度全日本オリエンテーリング大会(ミドル・ロング)	2,000,000	

②第32回全日本リレーオリエンテーリング大会	900,000	2,900,000
スポーツ団体スポーツ活動助成(くじ)	交付決定額	計
①スキーオリエンテーリング講習会	2,100,000	
②スキーオリエンテーリング指導者養成講座	3,088,000	
③ドーピング防止啓発活動推進	514,000	5,702,000
	合計	10,602,000

- ・世界選手権等への派遣・強化活動事業を日本スポーツ振興センターの助成申請を行い実施した。
- ・2023年度日本スポーツ振興基金の助成金は以上のように決定し活動を行った。
- ・選手強化活動の交付額の配分については、事業計画に基づいて行う。

2. 法人部門

「コロナ禍」は収束してきたが、業務成立が出来ていることから事務局の一部テレワークを継続実施した。

3. 関係諸機関等と連携を図り、普及発展に努めた。

- ・国際オリエンテーリング連盟(IOF)に引き続き加盟をした。
- ・IOFスキーO委員会委員として柴田達真氏を推薦し、委員に就任した。
- ・アジアワーキンググループミーティングをアジアオリエンテーリング連盟(AOF)に改組する取り組みを主導で行った。
- ・公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)に引き続き加盟をした。
- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に引き続き加盟をした。
- ・一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構(J-Fairness)に加盟した。
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)に引き続き承認団体として加盟し、準加盟への活動を行った。
- ・一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)に引き続き加盟した。
- ・一般社団法人日本スポーツ ツーリズム推進機構(JSTA)に引き続き加盟した。

4. 寄附金募集事業活動

寄付金維持等

- ・2023年度(2023/4月-2024/3月) 寄附金総額 7,899,738円となった。(会員支援金含む)

①オフィシャルスポンサー協賛金総額 900,000円

株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ

②一般寄付者一覧(敬称略、順不同) 寄付金総額 3,664,238円(ポスタル寄付を含む)

特定非営利活動法人トレイル・オリエンテーリング協会

株式会社アークコミュニケーションズ、株式会社リテラメッド

伊藤好信	伊藤伸悟	浦瀬香子	浦瀬太郎	大里真理子	岡野英雄
加藤高男	木村進	小林二郎	酒井佳子	鷹取敦	高橋明美
新田見優輝	村越真	阿部昌隆	古津和夫	高橋厚	今関朝樹
佐野弘明	寺嶋貴美江	須田正治	大塚ふみ子	大塚校市	齋藤宏顕
日向繁	(3,664,238円のうち30,000円は2022年度寄付金)				(他匿名3名)

③新宿区わがまち応援支援金一覧(敬称略、順不動)総額1,984,000円 2022/1月～12月分

濱田康宏	糸春喜	鈴木恒久	大里真理子	小川和之	愛場庸雅
木下泉	牧ヶ野敏明	小林正子	小林岳人	今松健	奥田健史
棚橋是之	鹿島田浩二				

【参考】新宿区わがまち応援支援金一覧(敬称略、順不動)総額1,006,000円 2021/1月～12月分

大里真理子	小川和之	木村佳司	鈴木雄輔	村越真	奥田健史
小林力	稲葉英雄	小畑睦	小牧慎一		(他匿名2名)

④会員支援金

全日本、公認大会、地図販売支援(滋賀県オリエンテーリング協会)で会員支援金総額 1,351,500円

(ミドルロング677,000、スプリント135,500、リレー321,000、スキー53,000、公認78,500、地図販売86,500)

5. 表彰に関する事項

2023年度JOA表彰は、岐阜県オリエンテーリング協会推薦の中田茂夫氏、大場尊美氏の2名を表彰した。

6. 会員との交流

- ・対話集会を開催した。
 - 2023年6月10日 定期総会会場でオンラインも交え開催した。
 - 2024年2月28日 岩手県協会との第1回オンライン意見交換会を開催した。

7. オンライン講習会

・普及・教育関係

- 6月26日(月) 「オリエンテーリング黎明期を解き明かす:オリエンテーリングの日に寄せて」
- 9月22日(金) 村越真50周年記念トーク 第1回「村越真、オリエンテーリングとともに50年」
- 10月25日(水) 2023年世界選手権 合同報告会
- 11月24日(金) フットO(シニア) 2023年夏の欧州遠征 情報共有会
- 12月6日(水) 村越真50周年記念トーク 第2回「ナビゲーションの深淵へ」
- 2月7日(水) 村越真50周年記念トーク 第3回「スキルアップを支援する:コーチとしての40年」
- 3月19日(火) 村越真50周年記念トーク 第4回「村越真:マッピングとイベントプロデュースの仕事」

・競技力向上関係

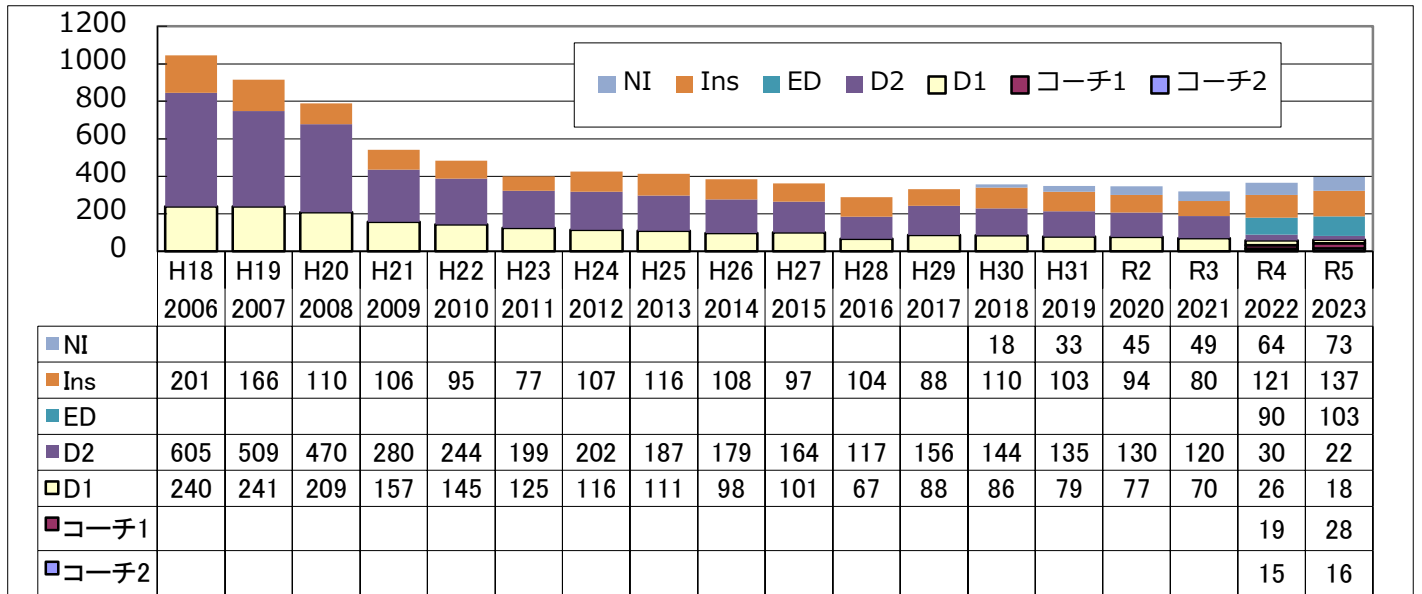
- 8月13日(日) OMMテクニカルセミナー第1回「OMMを楽しく安全に走るには」
- 9月13日(水) OMMテクニカルセミナー第2回「地図読みのキホン&読図力を身に着ける！」
- 9月28日(金) OMMテクニカルセミナー第3回「初めてでも迷わない! 読図の基礎」
- 10月5日(木) 第1回「トップ選手のトレーニング - 稲毛日菜子選手 × 伊部琴美選手 -」
- 10月24日(火) OMMテクニカルセミナー第4回「ルートプランニングを徹底的に鍛えよう！」
- 11月7日(火) 全日本ミドル・ロング振り返り
- 11月15日(水) OMM振り返り
- 11月17日(金) OMM Straight A 振り返り(有料セミナー)
- 11月22日(水) 第2回「世界で結果を残すための準備 - 小牧弘季選手 × 伊藤樹選手 -」
- 12月13日(水) 第3回「スキーO選手のトレーニング - 石原湧樹選手 × 寺嶋謙一郎選手 -」
- 1月10日(水) 全日本スプリントリフレクション(振り返り)
- 2月28日(水) 第4回「MTBO選手のトレーニング - 阿部稜選手 × 嶋岡雅浩選手 -」

附則 略称に関する注釈

大会名	略称に関する注釈	関係機関ほか
WOC	世界選手権 (フットO)	IOF 国際オリエンテーリング連盟
JWOC	ジュニア世界選手権 (フットO)	JOC 公益財団法人 日本オリンピック委員会
WCup	ワールドカップ (フットO)	JSC 独立行政法人 日本スポーツ振興センター
WMOC	マスターズ世界選手権 (フットO)	JADA 公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構
AsOC	アジア選手権 (フット)	J-Fairness 一般社団法人 日本スポーツフェアネス推進機構
AsJYOC	アジアジュニアユース選手権(フット)	UNIVAS 一般社団法人 大学スポーツ協会
AsTOC	トレイルOアジア選手権	JSP0 公益財団法人 日本スポーツ協会
WMG	ワールドマスターゲームズ	JPSA 公益財団法人 日本パラスポーツ協会
WTOC	トレイルO世界選手権	JPC 日本パラリンピック委員会
WMTBOC	マウンテンバイクO世界選手権	
WSOC	スキーO世界選手権	
JWSOC	ジュニアスキーO世界選手権	その他
EYSOC	ヨーロッパユーススキーO選手権	WRE ワールドランキングイベント
WUOC	世界大学O選手権	
WUSOC	世界大学SKI-O選手権	
MMO	箕面マウンテンオリエンテーリング	

年度別認定資格者数

西暦	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
コーチ2																	15	16
コーチ1																	19	28
D1	240	241	209	157	145	125	116	111	98	101	67	88	86	79	77	70	26	18
D2	605	509	470	280	244	199	202	187	179	164	117	156	144	135	130	120	30	22
ED																	90	103
Ins	201	166	110	106	95	77	107	116	108	97	104	88	110	103	94	80	121	137
NI													18	33	45	49	64	73
合計	1046	916	789	543	484	401	425	414	385	362	288	332	358	350	346	319	365	397



年度別競技者登録者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
男性	1246	1565	1556	1589	1667	1733	1719	1391	1623	1674	1616
女性	337	563	535	565	573	579	587	454	560	580	552
総計	1583	2128	2091	2154	2240	2312	2306	1845	2183	2254	2168
一般	653	716	671	619	655	578	724	642	743	785	757
内、学生	711	1239	1245	1290	1345	1392	1358	975	1175	1231	1139
内、U18	93	90	75	148	119	225	105	93	94	94	146
内、U15	126	83	100	97	121	117	119	135	171	144	126

